

令和5年度 第2回吉田支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和5年10月26日 14時～15時30分
場 所	吉田支所 2階大会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	<p>○協議事項</p> <p>(1) 令和5年度における今後の取り組みについて</p> <p>(2) 「地域と共に創るまちづくりプラン」(地域活性化計画)に基づく令和6年度以降の取り組みについて</p> <p>① 取り組みの方向性</p> <p>② 検討すべき課題</p>
主な意見等	<p>1 令和5年度における今後の取り組みについて</p> <p>【各委員等からの意見】</p> <p>○ イベントの中で、吉田地域のことをもっと知っていただくために、吉田の歴史などのクイズを○×ゲーム方式で実施したらどうか。</p> <p>2 「地域と共に創るまちづくりプラン」(地域活性化計画)に基づく令和6年度以降の取り組みについて</p> <p>(1) 取り組みの方向性</p> <p>【事務局】</p> <p>○ イベントの開催に当たり、今後、チラシなどでPRする際は、参加料に相応した価値ある催しの内容であることが理解いただけるような、PRの仕方を工夫していきたい。</p> <p>(2) 検討すべき課題</p> <p>① 実行委員会の編成に向けた取り組み</p> <p>【各委員等からの意見】</p> <p>○ 立ち上げる予定の実行委員会の実行委員長は、校区コミュニティ協議会の会長とかにやってもらえればと思う。なるべく人はいた方がいいと思うので、まずは実行委員長を決めてそこから枝分けして人を集めるとうまくいくと思う。あちこちと声掛けすることも大切だと思う。</p> <p>○ 協賛金を集める場合は、吉田のいろんな事業所を一番知っているのは商工会だと思うので、商工会と総務市民課が協力してやっていくのがいいと思う。</p> <p>【地域活性化アドバイザー】</p> <p>○ いろんなコミュニティを組み合わせるとして実行委員会として取りまとめてやっていくということが一番いいと思う。まず最初に、実行委員長を選任するのがいいと思うが、実行委員長をみんなでお願いするという形ではなく、みんなで行動委員長を育てていく感じがいいと思う。</p> <p>○ 自分はこれがやれるという部分を皆さん持っていると思うし、得意分野を持った人を多く集めて実行委員会を組織していくというのが事業をやっていく上での成功の秘訣だと思う。</p> <p>○ 行政として何を支援するかというのは、できている事業を支援するのではなく、事業に関わる人や団体を支援した方がいい。事業が終わったらその支援は終わってしまうが、人や団体を支援すれば事業が終わっても次の事業に繋がるし、経験を積むことで地域のコミュニティの中でも生かすことができると思う。</p> <p>② 「子どもも喜ぶ吉田の弁当販売」方向性の整理・合意形成</p> <p>【地域活性化アドバイザー】</p>

- 吉田の弁当販売に関する課題として、主に「吉田の弁当事業者が弁当を作り続けることができるか。」ということ、「弁当を持って行くときの衛生面」、「弁当のラベル表示」がある。

**【各委員等からの意見】**

- 日持ちのするふくれ菓子など、試合の合間に軽く食べる副食を考えてはどうかと思う。
- 小腹が空いたときに食べられるもので、蒸し芋はどうか。セイロというのを今の子どもたちはあまり見たことがないと思うので、セイロで蒸しながら販売するのもいいと思う。
- 吉田で作ったお米でおにぎりを作って、それに JA の女性部の皆さんが作った味噌を塗って焼いた焼きおにぎりにしてみてもどうか。日本人は誰もが米や味噌を食べたくなるので売れると思う。